

松戸市長 本郷谷健次様

2017年11月30日

JR馬橋駅東口へのバス乗入れについて

東口再開発とは別に「駅前または周辺に交通広場」の確保を求める緊急要望書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員長 横堀渉  
日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会八ヶ崎支部  
日本共産党松戸市議会議員 山口正子  
日本共産党千葉県議会議員 みわ由美

市民生活向上のため、日夜ご尽力されていることに、敬意を申し上げます。さて、いよいよ12月16日から市民の皆さんが待ち望んでいる、松戸市で最初のコミュニティバス実証運行が開始されます。まず実証運行を中和倉地区からスタートさせ、「好評であれば他の地区にも広げていきたい」と今年8月の「広報まつど」で市長は表明されて、市民からは今後の交通政策に大きな期待が寄せられています。

同時に、再三市長宛に「八ヶ崎からミニバスを走らせる会」から要望を重ね(2015年3000通のアンケート提出)、今年5月26日には、『①八ヶ崎地域にコミュニティバスを運行してください。②馬橋駅東口ロータリーにコミュニティバスを乗り入れてください。』との要望書を、3953筆の署名と一緒に提出しました。しかし、いまだ達成されず、共に取り組んできたわたくしどもとしても大変残念でなりません。

もともと本郷谷市長も、当初より①②については、その必要性を認め、前回5月26日お会いした時も、特に「馬橋駅へのバス乗り入れ」については、「市として調査費も予算化し(駅再開発の中でコンサルに)検討している」と回答され、わたくしどもも期待していました。しかし、街づくり課担当者から、「今すぐの再開発はない」との検討結果を聞きましたので、8月に市長への要望書を提出し、本日改めて要望に参りました。

市長としてあらゆる手立てを尽くし、この際再開発ではなく、公共事業として、県やJRの協力も得て、長年の住民や市の悲願でもあるJR馬橋駅東口へのバス乗入れを、真正面から検討して頂きたいのです。

市のご努力によりJR北小金北口では、交通広場を市の道路事業として実施する計画となっています。馬橋駅東口側には有名な由緒ある萬々寺もあり、北小金駅と比較しても利用者が多いJR馬橋駅東口についても、同様の事業を是非、実現して頂きたいのです。

中和倉地区を走るコミュニティバスの停留所が、若干、今の路線バスより馬橋駅に近い場所で停留できましたが、交通事故の危険なく、安定的にバスの回転が出来る交通広場の確保は、今後も必ず必要となってきます。

よって、現在のところ都市計画道路3・3・6号への路線バス運行計画がない中で、八ヶ崎地域にコミュニティバスの運行を求めると同時に、JR馬橋駅東口へのバス乗入れについて再開発とは切り離して事業化の検討を、強く要望します。よろしくお願い致します。

以上